

教授 横澤 一彦 YOKOSAWA, Kazuhiko

<http://www.l.u-tokyo.ac.jp/~yokosawa/index-j.html>

1. 略歴

1979年3月 東京工業大学工学部情報工学科卒
1981年3月 東京工業大学大学院総合理工学研究科電子システム専攻修士課程了
1981年4月 日本電信電話公社（現NTT）入社
1986年9月～1990年2月 ATR 視聴覚機構研究所（出向）
1990年9月 東京工業大学より工学博士号授与
1991年11月～1992年12月 東京大学生産技術研究所 客員助教授
1995年6月～1996年6月 南カリフォルニア大学 客員研究員
1998年10月 東京大学大学院人文社会系研究科 助教授
2006年4月 東京大学大学院人文社会系研究科 教授
2009年12月～2010年3月 カリフォルニア大学パークレイ校 客員研究員
2010年4月～2011年3月 東京大学文学部 行動文化学科長
2013年4月～2014年3月 東京大学大学院人文社会系研究科 基礎文化研究専攻長
2014年4月～2015年3月 東京大学文学部 行動文化学科長
2017年4月～2018年3月 東京大学文学部 行動文化学科長

2. 主な研究活動

a 専門分野

統合的認知の心理学

b 研究課題

統合的認知について、認知心理学的研究を行っている。統合的認知とは、知覚された特徴がどのように記憶や言語や概念と関わりあって、認知に至るのかを解明しようとする広範囲の研究を指している。特に、視覚的注意やオブジェクト認知の問題を中心に研究している。さらに、感覚融合認知や共感覚に関する研究にも取り組んでおり、研究分野は視覚だけに限らず、扱っている研究課題は多岐に渡っている。

c 概要と自己評価

統合的認知に関する、多岐に渡る研究を行い、注意、オブジェクト認知、感覚融合認知の研究成果を学術国際誌に学術論文として発表することができた。特に、色嗜好に関する日米比較研究、色字共感覚に関する5カ国の比較研究は、国際共同研究の成果である。また岩波科学ライブラリーの1冊として、「つじつまを合わせたがる脳」を単著で出版した他、心理学以外の臨床神経科学、情報処理などの学会誌に依頼され、注意やラバーハンド錯覚などの最近の統合的認知研究の成果を中心に、概説を含めた論文を発表した。また、ドイツのチュービンゲン（2017年9月）や中国の北京（2017年12月）で開催された国際会議で招待講演を行い、幅広い注目を集めた。

d 主要業績

(1) 著書

単著、横澤一彦、『つじつまを合わせたがる脳』、岩波書店、2017.1

(2) 論文

K. Yokosawa, K. B. Schloss, M. Asano, & S. E. Palmer, 「Ecological Effects in Cross-Cultural Differences between US and Japanese Color Preferences」、『Cognitive Science』、40, 7, 1590-1616 頁、2016

C. Ishiguro, K. Yokosawa, & T. Okada, 「Eye movements during art appreciation by students taking a photo creation course」、『Frontiers in Psychology』、7:1074, 2016

R. Nakashima, Y. Komori, E. Maeda, T. Yoshikawa, & K. Yokosawa, 「Temporal Characteristics of Radiologists' and Novices' Lesion Detection in Viewing Medical Images Presented Rapidly and Sequentially」、『Frontiers in Psychology』、7:1553, 2016

K. Nonose, R. Niimi, & K. Yokosawa, 「On the three-quarter view advantage of familiar object recognition」、『Psychological Research』、80, 6, 1030-1048 頁、2016

J. Nagai, K. Yokosawa, & M. Asano, 「Biases and regularities of grapheme-color associations in Japanese non-synesthetic population」、『Quarterly Journal of Experimental Psychology』、69, 1, 11-23 頁、2016

横澤一彦、「手と指の身体所有感とラバーハンド錯覚」、『Clinical Neuroscience』、35, 2, 186-188 頁、2017

横澤一彦、「注意とは何か」、『Clinical Neuroscience』、35, 8, 918-921 頁、2017.

横澤一彦、河原純一郎、「気づきを生み出す人の注意—その基本図式—」、『情報処理』、58, 4, 282-286 頁、2017

R. Niimi, H. Shimada, & K. Yokosawa, 「Inhibition of Return Decays Rapidly When Familiar Objects Are Used」、『Japanese Psychological Research』、59, 2, 167-177 頁、2017

R. Nakashima & K. Yokosawa, 「To see dynamic change: Continuous focused attention facilitates change detection, but the effect persists briefly」、『Visual Cognition』、26, 1, 37-47 頁、2018

N. B. Root, R. Rouw, M. Asano, C.-Y. Kim, H. Melero, K. Yokosawa, & V. S. Ramachandran, 「Why is the synesthete's "A" red? Using a five-language dataset to disentangle the effects of shape, sound, semantics, and ordinality on inducer-concurrent relationships in grapheme-color synesthesia」、『Cortex』、99, 375-389 頁、2018

(3) 受賞

国内、横澤一彦、日本認知科学会フェロー、日本認知科学会、2017.9.13

3. 主な社会活動

(1) 学会

国内、日本認知科学会、常任運営委員、2013.1～

(2) 行政

日本学術振興会「課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業」事業委員会、委員、2017.6～